



2026 年 6 月 19 日

各 位

会 社 名 ウイングアーク 1 s t 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 CEO 田 中 潤
(コード：4432 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役執行役員 CFO 藤 本 泰 輔
(TEL 03-5962-7400 (代表))

帳票保管クラウドサービス「SVF Archiver」の AI 機能強化に関するお知らせ

ウイングアーク 1 s t 株式会社は、デジタル帳票基盤「SVF」の帳票保管機能である「SVF Archiver」クラウド版において、AI エージェントから文書検索等を可能にする MCP（注）への対応を 2026 年 6 月 20 日より開始します。

本対応により、利用者は各種 AI ツールから自然言語で指示を行うことで、保管された帳票・文書・契約書の保存、全文検索、複合検索に加え、文書情報の取得・更新、フォルダの移動、文書の削除等の操作が可能となります。

なお、デジタル帳票基盤「SVF Cloud」においても、AI エージェントと連携できる MCP 対応 β 版を本日より提供します。当社は主要製品全てに生成 AI を適応する方針を掲げており、デジタル帳票基盤「SVF」ブランドをはじめ今後も生成 AI 対応の開発を推進し提供してまいります。

（注） Model Context Protocol : AI と社内データや外部データ、ツールを標準化された規格で安全で簡単に接続する共通規格（プロトコル）。従来、AI サービスと業務システムの接続先ごとに必要だった個別開発を不要となる。「誰が、どの AI に接続するか」などのセキュリティとガバナンスの統制を実現。

記

1. 対応の背景

生成 AI の普及に伴い、企業内に蓄積された文書や帳票を AI と共存する形で運用し、その効果を組織全体に還元したい、というニーズが高まっています。一方で、多くの企業では必要な文書を検索・確認する作業が依然として人手に依存しています。「SVF Archiver」の MCP 対応により、利用者は各種 AI ツールから自然言語で指示し、保管された帳票や文書を検索・参照できるようになります。

2. 「SVF Archiver」 MCP 対応

項目	内容
検知・チェック	入力漏れを防ぐプロパティの自動チェック 取引金額・取引先・取引日など、電帳法に必要な項目の入力漏れを自動検出。対話形式で一覧化し、税務調査・監査にもスムーズに対応できます。
連携・自動入力	他システムのデータをプロパティへ自動転記 取引先マスタや登録番号など、社内の別システムで管理している情報をプロパティへ自動転記。二重入力の手間をなくし、情報活用の精度を高めます。
整理・移動※	散在する書類を自然言語で一括整理 キーワードを伝えるだけで、フォルダをまたいで書類を横断検索。見つかった書類を正しいフォルダへ移動し、書類管理の負荷を軽減します。

なお、本件リリースにつきましては、以下の URL をご参照下さい。

<https://corp.wingarc.com/public/202606/news2989.html>

<製品・サービスに関するお問い合わせ先>

お問い合わせフォーム：<https://www.wingarc.com/contact/>

<IR に関するお問い合わせ先>

CFO 室 IR 担当

E-mail：wingarclst_ir@wingarc.com

以上